

|| CASE ||

1

おじいおばあ の 駄菓子屋

小規模多機能施設あん

「小規模多機能ホームあん」では、利用者さんとスタッフが協力して駄菓子屋さんを運営しています。アットホームな雰囲気の中、子どもたちとコミュニケーションをとると同時に、利用者さんが計算や接客を行うなど、自立支援の場としても役立てています。また、公民館のお祭りや保育園のイベントでも出張販売を実施。地域とのつながりを深めています。駄菓子屋を開店して以来、おじいおばあたちに笑顔が増え、楽しい「場づくり」が成功しています。



毎日営業しているので
気軽に来てください♪

その人の
“ありのまま”を
受け入れます。



|| CASE ||

2

注文を間違える ゆいまーるな喫茶店

サンクス・ママ

高齢者（認知症）の方々が社会に参加できる環境を整え、人と人が支え合う「ゆいまーるな温もり」を感じてほしい。そんな思いで沖縄県全域にてイベント開催中の「注文を間違えるゆいまーるな喫茶店」。認知症の皆さん自身がホールスタッフを勤め、その自立をサポートするとともに、地域の皆さんとの交流によって、認知症の理解へとつなげる取り組みです。現在までに沖縄県内の10市町村にて全18回開催。さまざまな場所で輝く「笑顔」が生まれています。

この子がいると
気持ちも
明るくなるさあ〜



|| CASE ||

7

認知症への理解を 深める憩いの場

グループホームきらめきトグチ

読谷村の「グループホームきらめきトグチ」で毎月第3木曜日（15:00～16:30）に開催されている「トグチふくしカフェ」は、認知症の方やご家族、地域の方々に開かれたコミュニケーションスペース。皆でコーヒーを飲みながら交流を深めることができます。沖縄民謡や懐メロを通して昔を振り返ったり、近隣のコーヒーショップによるハンドドリップの実演など、リラックスした雰囲気の中、楽しみながら認知症への理解を深めることができます。

ゆんたくしながら
介護の知識が
深まる☆

日々進化し続けている介護の現場をチェックしよう！

“遊びゴコロ”を感じるアイデア & ユニークな取り組み

介護の仕事をもっと柔軟に考えてみると、まったく新しい世界が見えてくる。今、沖縄県でもさまざまな事業所で“遊びゴコロ”を感じるアイデアやユニークな取り組みが行われています。ここでは、介護の“タイヘン”を“タノシイ”に変える多彩な事例をご紹介します。



|| CASE ||

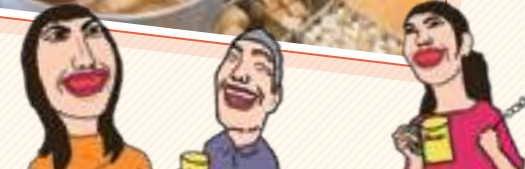
6

みんなの笑顔が輝く
イベントを開催中! 😊

多彩なアイデアで “生きがい”を創出

(株)いきがいクリエーション

(株)いきがいクリエーションが実施している「ズットクラスプロジェクト」では、地域を軸に、利用者さん、介護者が共に楽しむための多彩な企画がいっぱい！例えば、施設内で開催された「生きがい再生酒場」では、実際にお店の雰囲気をつくりながら本格的な焼き鳥やおでんを提供。唯一のルールは「自分で注文をする」こと。イベントの際は、日頃は歩行介助が必要な方も積極的に参加し、「楽しい♪」「美味しい!」と大盛況だったそうです。



利用者さんにも
介護者にとってもメリット大!

|| CASE ||
5

未来志向の 「介護ロボット」活用

有料老人ホーム ゆうらく寿

(有)寿ランドが運営する「有料老人ホーム ゆうらく寿」では、「働きやすい職場づくり」に取り組むなかで、介護ロボットを積極的に導入。移乗時やおむつ交換における介護者の腰の負担軽減を目的に、装着型のマッスルスーツと移乗サポートロボットの2種類を介護現場で活用しています。余計な力が入らないことで利用者の皆さんの負担低減にもつながっており、介護ロボット導入によって、肉体的・精神的・時間的ストレスの緩和が実現しています。



|| CASE ||

4

アミーゴCAFE

うらそえ介護福祉士会

「アミーゴCAFE」は、うらそえ介護福祉士会が毎月11日に開催している介護・福祉の現場で働く皆さんを中心としたコミュニティサロンです。異業種で働くゲストも多数参加し、さまざまなテーマでトークや情報交換を行っています。お茶やお酒を片手に、くだけた雰囲気で見聞が広がる「語り場」には、「介護の現場のやる気を伝えたい!」「地域をもっと盛り上げよう!」という個性豊かなメンバーが集まっています。

情報や想いを
共有すれば
やる気生まれる!

